

努力賞

メガネはすごい

峡田小学校 二年 池田 蘭

やなぎ田先生、はじめまして。わたしは「メガネをかけたら」という本を読みました。

しゅ人公の女の子はメガネをかけるのがいやで、つぎの日学校にかけていくはずだったのに、

「いやだ。」

と言ってけっきょくメガネをかけずに学校にいきました。わけは、クラスで一人もメガネをかけていないのに、一人だけかけていたらわらわれると思ったからです。

わたしも、しゅ人公だったら、クラスで一人だけメガネをかけていくのはいやだと思います。でも、先生に

「メガネをかけたら人の心の中までみえるのよ。」

とおしえていただいたらじしんが出てきてメガネをかけてもわらわれないのがわかったので、メガネをかけてもぜんぜんいやな気持ちにはならないのがわかりました。

わたしは、メガネをかけたらうちゅうまで見えるというばめんがすきです。わけは、もしもそのメガネがあったら、かけていつも上を見るとうちゅうのようすがロケットにのらなくて分かるからです。もしもそんなメガネがあったら一どでいいからかけてみたいと思います。

やなぎ田先生は、かけたら空をとぶメガネやものすごく小さいものまで見えるメガネがあったらそれをかけてみますか。わたしだったらぜったいにかけてみます。おもしろそうだからです。

やなぎ田先生、この本を読んでみてください。